

令和4年度 第3回沖縄県がん診療連携協議会 医療部会議事要旨

日 時：令和5年2月15日(水) 16:00～17:30

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出席者：7名

照屋淳(北部地区医師会病院)、増田昌人(琉球大学病院)、外間早紀子(沖縄県保健医療部健康長寿課)、朝倉義崇(沖縄県立中部病院)、川満博昭(沖縄県立宮古病院)、野村寛徳(琉球大学病院)、有賀拓郎(琉球大学病院)

欠 席：2名

宮里浩(那覇市立病院)、安次嶺宏哉(沖縄協同病院)

陪 席：1名

並里亜衣

〈報告事項〉

1. 令和4年度 第2回医療部会議事要旨について

野村部会長より、資料1に基づき第2回医療部会議事要旨について説明があった。議事要旨の内容について意見等があれば、がんセンターまで連絡するよう説明があった。

2. 部会委員一覧について

野村部会長より、資料2に基づき部会委員についての説明があった。意見等があれば、がんセンターまで連絡するよう説明があった。

3. その他

特になし。

〈協議事項〉

1. 指定要件変更について

増田委員より、がん診療連携拠点病院等の整備について8月1日付で変更になっているので、それぞれ確認するよう説明があった。

2. 第4次沖縄県がん対策推進計画協議会案の作成について

増田委員より、資料4に基づき第4次沖縄県がん対策推進計画の協議会案作成について、委員より意見を頂戴したいとのコメントがあった。また協議会で作成した案については、県へ要望として提出するとの説明があった。

有賀委員より①の「沖縄県病院事業局は、県立病院におけるがん医療の人材育成と配置について、短期的および中長期的視点で取り組む」について、「県立病院」だと北部地区医師会病院が除外になってしまうため、県立病院ではなく、地域がん拠点か診療拠点病院にしてはどうかとの意見があった。増田委員よりその点に関しては修正するとの回答があった。

朝倉委員より①について、病院事業局は県立病院のみ管轄しかしていないため、県立病院以外の病院にもお願いするとなれば、保健医療部の管轄になるので、保健医療部がやるべきこと、病院事業局がやるべきことを別々に記載してはどうかとの意見があった。

3. 死亡率の地域格差の是正について

増田委員より、死亡率の地域格差についてそれぞれ資料を確認するよう説明があった。また、協議については次回に行うとの説明があった。

4. 働き盛り世代の死亡率の改善について

増田委員より、資料6に基づき働き盛り世代の死亡率について説明があった。有賀委員より、労働人口の寿命の改善にフォーカスしてもいいのではないかとの意見があった。

5. 膵臓がんの早期発見について

増田委員より膵臓がん発見について、内科の先生に聞き取り調査を行ったとの報告があった。予算の問題等があり、プロジェクトとしては難しいのではないかとの回答があったとの報告があった。

6. 県内における免疫抑制・化学療法によるHBV再活性化への対策について

増田委員より、昨年琉大もHBV再活性化対策についてのワーキングを作成し、レジメン委員会で決議をしたとの説明があった。

7. 大腸がん死激減プロジェクト連絡会議について

増田委員、有賀委員より資料9に基づき、大腸がんプロジェクトの進捗状況について、沖縄県医師会長と面談を行い、津梁ネットワークへのバナーの設置、案内文書のダウンロードができるように依頼を行ったとの説明があった。

朝倉委員より県立病院が津梁ネットワークにほとんど参加していない為、病院事業局へ協議会として依頼してみてもどうかとの意見があった。

8. その他

増田委員より、第4次沖縄県がん対策推進計画の協議会案について意見等があれば2月末までに事務局または増田委員へ連絡するよう説明があった。